



「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」

ねらいの化学反応を実現する触媒(活性サイト)の科学:最先端の研究に触れてみよう

日時 2015年11月1日(日)

場所 首都大学東京南大沢キャンパス(8号館・国際交流会館内 大会議室)

11月1日に「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催しました。午前中の最初に可知理工学研究科長(都市教養学部長)のご挨拶(写真左上)の後で、科研費の説明や講演「ねらいの化学反応を実現する触媒(活性サイト)の科学」を行いました。施設見学会や昼食会の後、参加した学生さんたちと8号館前で記念撮影(写真右上)、実験室に移動して体験実験に取り組みました。

研究室の学生・教員の指導の下で、らせん構造をもったポリスチレンの合成やカップリング反応などに取り組みました(写真左下)。休憩の後、高輝度光科学センターの松下智裕先生による公開講演会「世界最大の放射光施設 SPring8 で触媒の謎を探る」が開催されました(写真右下)。参加された学生さんには、修了式で「未来博士号」が授与されました。

幸い天候にも恵まれ、学園祭とも重なり、にぎやかな会を催すことができました。国際交流会館内に掲示したポスターにも多数の見学者がいらっしゃいました。なお、本事業は新学術領域研究「3D 活性サイト科学」及び首都大学東京理工 GP 事業として開催されました。関係の皆様にお礼申し上げます。当日の参加者は引率の方も含めて約 50 名でした。

(担当・文責: 野村琴広 理工学研究科分子物質化学専攻 有機化学研究室)

